

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 富田林市

実践研究校名 富田林市立小金台小学校

【公開授業】公開日：平成26年2月25日

対象学年：5年

(教材・教科書名) Hi, friends 1 lesson 6 “What do you want?” (単元名) オリジナルパスポートを作ろう	(本時の指導の目標) オリジナルパスポート作りに必要なアルファベットカードをALTや友だちにインタビューして集める
---	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・英語を使った活動を重視し、英語を用いた関わり合いが必然的に生まれるように、オリジナルパスポートを作成することをゴールに設定した。
- ・ALTや友だちに伝えようとする態度や気持ちを大切に、意欲を高められるようにした。
- ・児童同士のコミュニケーションの場を保障するようにした。

(授業を終えた教員の感想)

- ・普段、英語で話すことに不安のある児童が多かったが、オリジナルパスポート作りという目標に向かって、いきいきと会話をしていた。
- ・意欲的に活動できていたが、教師からの指示や説明が通りにくい場面もあったので、活動、発表、リスニングなどの場面によって切り替えを行うことが必要と感じた。

【研究協議会】

(テーマ) 外国語でつながろう！！楽しもう！	(指導・助言者) 大阪府教育センター 教育課程開発部 学力向上推進室 指導主事 小野 扶美彦
---------------------------	---

(研究協議会で出された意見)

- ・ゲーム中に日本語を使ってしまう児童の指導をどうするか。
- ・目標(目的)の設定方法と次へのつながり方について、パスポートを「作ることをゴール」にした場合、完成してしまうと習った英語を使わなくなってしまうのではないか。
- ・教室掲示や教材等が整えられた環境になっており、外国語で学習活動を行うことで、児童が意欲的に取り組んでいる。

(まとめ)

1. 「気持ちを伝えたい、受け取りたい」と思うことが、コミュニケーションにおいて大切で、日本語を交えた関わりでもよい。「やってみたい!」と思うことが重要である。
2. 作って完成させるだけでなく、学んだ表現につながるよう活動を設定していく必要がある。 What do you want?⇒What would you like? (より日常的)
3. 教室掲示や教材を工夫することで、外国語をより身近に感じることができ、児童の関心が高まる。